

理科室からこんにちは

～ 親子で理科を楽しもう ～

平成23年2月24日

～ 本校の研究者達 その4 ～

「カブトムシ」すごい!!

4年 俵谷日菜子さん

1. はじめに

私の家は山の近くにある。だから毎年夏になるとカブトムシが飛んでくる。そこで今年
は飛んできたのをかうことにして、調べた。

2. 調べる方法

- ①実際の虫を観察して調べる。
- ②図鑑などで調べる。

3. 調べたこと

- ①カブトムシのオス
体のつくり、行動、引く力。
- ②カブトムシのメス
体のつくり、行動、産卵。
- ③人工樹液の作り方。
- ④カブトムシの一生。
- ⑤カブトムシの種類 (世界のカブトムシ)。

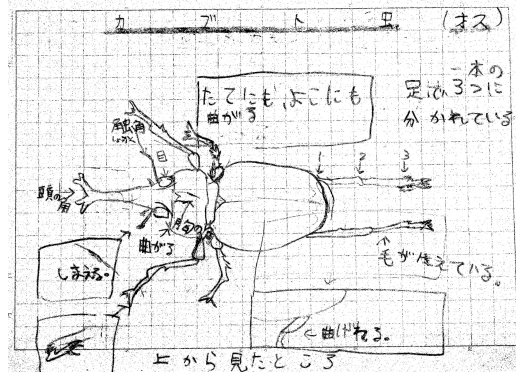


図-1 カブトムシのスケッチ (オス)

4. 感想

カブトムシが活着しているときに、いろいろなことをして、たくさんを知ることができてよかった。カブトムシがぜつめつなどしないしてほしいと思う。
がんばったのは観察とスケッチで、スケッチは特にむずかしかった。

うみつけられた直後のたまごは、だ円形のボールのような形で、長い方の直径が約3mm、短い方の直径が約2mm。たまごは、回りの水分を吸い、数日で直径5mmほどの球形にふくらむ。

2〜3週間ほどすると、たまごから幼虫が出てくる。生まれたばかりの幼虫は、「輪虫」のよう。体長8mmくらい。幼虫は、皮をぬいで大きくなる。幼虫は、土の中で、ぐるぐる大まくなり、体重は、1000倍もふえます。

カブトムシの幼虫は、ふ化してから幼虫の最後の3齢幼虫になるまでに、ぐんぐん大きくなり、体重は、1000倍もふえます。

幼虫の体の3分の2は、胃や腸で、食べ物の消化に使っています。

大きくなるにつれて、土の中で、回し、さなぎになるためのよう室を作ります。

茶色くなる。成虫の体つくり

よう化してまもないさなぎの中では、幼虫のこまな型が白いが、時間がたつと茶色くなり、皮もかたくなります。

オスのさなぎの頭の半分が、成虫の体ができるとさなぎのさなぎ

からの中に角の形がく、角は初めは水が入っているような、半透明の状態で、成虫の体ができるとさなぎのさなぎ

羽化したばかりのさなぎの中から皮がだんだんしぼんでいき、白い前脚がでてくると、羽化がはじまる。

羽化

成虫の前脚は、羽化する約10時間くらい、よう室で待っています。無事羽化が終ると、土から出てきたカブトムシは、10日たつとこまな型が、体全体がしぼりかたくなります。

コレがカブトムシの羽化までです。